

◇静岡海岸の堤防嵩上げ工事を進めています◇

平成27年度に海岸堤防嵩上げ工事に着手し、平成31年3月までに758mの堤防嵩上げが完了しました。昨年度から施工している区間②110mの工事夏までに完了する予定です。引き続き、本年度は約320mの工事を行う予定です。

場所	延長(m)	説明
①	758	平成31年3月迄に完成
②	110	令和元年夏までに完成
③	320	令和元年度施工予定
④		今後施工予定



■海岸堤防断面【中島地区】

津波が乗り越えても壊れにくい構造に改良
(矢板打設)

【堤防高さ】
海拔7.26m⇒8.50m

【被覆コンクリートの厚さ】
20cm⇒50cm

静岡県では、第4次地震被害想定において推計されている被害をできる限り減らすため、「地震・津波対策アクションプログラム2013」を策定し、津波対策施設の整備等を進めています。
静岡海岸では、レベル1津波(※1)に対応できるように「海岸堤防の嵩上げ工事」を行っています。

◇静岡県建設業協会「建設もの創り大賞」で優良賞◇



住宅地側法面に被覆ブロックを使用

※1【レベル1の地震・津波】
発生頻度が比較的高く(駿河・南海トラフでは約100~150年に1回)発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波
【レベル2の地震・津波】
南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波

一般社団法人静岡県建設業協会による「第35回建設もの創り大賞」が平成31年3月に発表され、静岡海岸堤防嵩上工事が優良賞を受賞しました。
住宅地側法面のコンクリート部を現場で打つ工法から、コンクリート製品を使用する工法へ変更したことにより、工期短縮、品質の向上、施工の安全性が向上し、高評価を受けました。

◇静岡海岸の砂浜が順調に回復しています◇

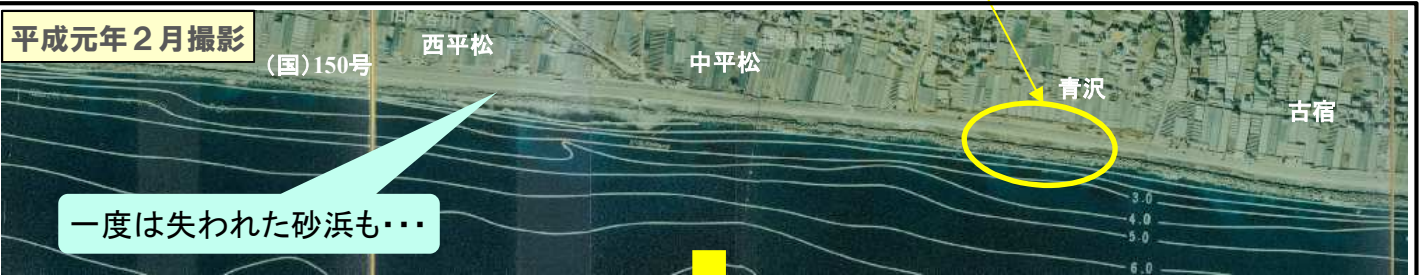
昭和40年代、安倍川からの土砂供給量の減少に伴い、安倍川河口付近から海岸侵食が始まりました。海岸侵食は年々東側へ拡大し、昭和50年代には毎年のように護岸や国道150号が決壊する被害が発生しました。

県は、海岸堤防や道路の復旧工事を進めるとともに、背後地の安全を守るため、**離岸堤設置などの海岸侵食対策**を行い、**現在では、清水区境付近まで砂浜が回復**してきました。

砂浜には波のエネルギーを減衰させる効果もあります。



昭和56年10月 青沢地先 波浪による国道150号被災状況



一度は失われた砂浜も...



かつての浜幅まで回復しました



回復した砂浜には、イベントや地域の方の憩いの場としても活用されています

静岡県静岡土木事務所
問合せ先: 工事第1課
(TEL 054-286-9331)



静岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに
Shizuoka Prefecture

New Public Engineering for SHIZUOKA
いっしょに、未来の地域づくり。
静岡県交通基盤部